

西郷村新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託に関する
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和2年9月4日

西郷村新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル審査委員会

1 選定結果

受託候補者	株式会社石本建築事務所 東京オフィス	評価点合計	289.3 点
次点候補者	F 者	評価点合計	280.8 点

2 選定概要

(1) 選考方法

設計者の選定については、公募型プロポーザル方式を採用し、西郷村新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル実施要領に基づき、参加資格を満たす者を公募により募集した。

審査にあたっては、西郷村新庁舎建設基本設計・実施業務委託公募型プロポーザル審査委員会による1次審査及び2次審査を経て受託候補者及び次点候補者を選定した。

(2) 参加表明者

9 者

(3) 1次審査

1次審査では、参加表明者から提出された参加表明書類により、西郷村新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル評価要領に基づき、企業の評価、配置予定技術者の技術力及び資格について評価を行った。

この審査の結果、参加表明者9者のうち、評価点の低い2者を非選定とし、7者に対し2次審査に進む者として技術提案書の提出要請を行った。

(4) 2次審査

2次審査では、テーマ別技術提案書、取組方針・実施体制・建設コスト縮減、業務見積書について評価を行い、1次審査で選定された7者から提出を受けた技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングの結果を踏まえ、総合的に判断した。その結果、評価点(350点満点)の最も高い提案者を受託候補者に、次に高い提案者を次点候補者に選定した。

3 審査委員会委員の構成（順不同、敬称略）

役 職	氏 名	所 属 等
委員長	廣田 篤彦	日本大学工学部 教授
副委員長	滝浪 正光	滝浪正光建築研究所
委員	山口 勝己	東京都市大学共通教育部 教授
委員	高橋 岳志	日本大学工学部 助教
委員	大越 則恵	西郷くらしの会 会長
委員	東宮 清章	西郷村 副村長
委員	真船 貞	西郷村 総務課長
委員	福田 修	西郷村 企画政策課長

4 選定の経過

令和2年7月10日（金）	公募型プロポーザル公告
令和2年7月17日（金）	1次審査に関する質問書受付期限
令和2年7月21日（火）	1次審査に関する質問書の回答書公表
令和2年7月27日（月）	1次審査書類の提出期限
令和2年7月31日（金）	1次審査
令和2年7月31日（金）	2次審査参加要請者へ通知
令和2年8月11日（火）	2次審査に関する質問書受付期限
令和2年8月14日（金）	2次審査に関する質問書の回答書公表
令和2年8月27日（木）	2次審査書類の提出期限
令和2年9月1日（火）	2次審査

5 審査講評

7者の提案を概観すると、利用者に対する「親近性・利便性」や、機能として求められる「健康と協働」、「防災拠点」など、本課題の主たるテーマに対する考え方についてはいずれの提案も説得力があり、優劣つけがたいほど質の高いものであった。

その中で受託候補者の提案は、特に下記の点について高く評価された。

テーマ1「村民に親しまれ、利用しやすい庁舎」、テーマ2「村民が集い、健康と協働を支える庁舎」について、庁舎の中心にラウンジ空間を提案され、このラウンジを中心に横断的な利用と機能を補完しあうことができる点や、村民の活動や交流など多目的に活用できる点などが評価された。

また、テーマ7「敷地のゾーニング計画及び自由提案」について、敷地の中心に庁舎を配置し、将来の拡張等を見込んだ配置計画や利便性の高い駐車場計画なども高く評価された。

一方で、積雪に対する対策や耐震性・防火性能について疑義があり、設計段階の検討が必要との意見もあった。

次点候補者の提案は、全体的にバランスのとれた完成度の高い提案であり、設計JVにおける地元設計事務所との関係性について一体となって進めて行く体制や、テーマ3「多様な変化に対応でき、快適で働きやすい庁舎」について高く評価されたものの、村民交流ゾーンへの動線等について意見があり、最高評価を得るまでには至らなかった。

以上、受託候補者と次点候補者を選定したが、各提案者の多大なるご尽力に感謝申し上げますとともに、受託候補者を中心として、村民・議会・行政が連携しながらより良い新庁舎が実現されることを心より希望する次第である。

西郷村新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル
審査委員会 委員長 廣田 篤彦